

明日の日本への希望となる青写真を描く

復興構想会議スタート 4/14

政府は、4月11日の閣議決定に基づき、「被災地の住民に未来への明るい希望と勇気を与えるとともに、国民全体共有でき、豊かで活力ある再生につながる復興構想を早期に取りまとめるため」、五百旗頭真防衛大学校長を議長とする「東日本大震災復興構想会議」を設置し、第1回を4月14日に開催しました。

同会議は、「検討部会」（部会長：飯尾潤政策研究大学院大学教授）を設置し、専門的見地からの議論を深めるるとともに、6月末頃を目途に「提言」を取りまとめる予定としています。

東日本大震災被災地域の創造的復興は、少子・高齢化が著しい全国各地および日本の再生モデルとなることが期待される所です。

わたしたちの職場である国交省地方整備局は、現在すすめている応急復旧対策の後、引き続き、同会議提言を踏まえた政府方針に基づき「本格的（創造的）復興」をめざすこととなります。合言葉は、つながろうNIPPON、頑張ろう東北！、です。

■復興構想会議委員名簿

議長	五百旗頭 真	防衛大学校長、神戸大学名誉教授
議長代理	安藤 忠雄	建築家、東京大学名誉教授
議長代理	御厨 貴	東京大学教授
委員	赤坂 憲雄	学習院大学教授、福島県立博物館館長
委員	内館 牧子	脚本家
委員	大西 隆	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻
教授		
委員	河田 恵昭	関西大学社会安全学部長・教授 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長
委員	玄侑 宗久	臨済宗福聚寺住職、作家
委員	佐藤 雄平	福島県知事
委員	清家 篤	慶應義塾長
委員	高成田 亨	仙台大学教授
委員	達増 拓也	岩手県知事
委員	中鉢 良治	ソニー株式会社代表執行役副会長
委員	橋本 五郎	読売新聞特別編集委員
委員	村井 嘉浩	宮城県知事
特別顧問	梅原 猛	哲学者



← 五百旗頭議長

議長は第1回会議に「義援金＋公債＋震災復興税」という支援と負担の枠組みを示した。少子高齢化、人口減少、膨大な累積債務という制約要因の下で、数十兆円を要すると言われる復興財源を確保するためには、いまの時代を生きるわたしたちが、幅広く支えていく「震災復興税」も選択肢として支持したい。復興構想会議の委員は多士済々である。骨太の議論で大きな方向性を示していただきたい。中央執行委員長 加藤順一

つながろうNIPPON
がんばろう！東北
被災者支援と復旧・復興に全力

灯りをともすつづきやきの数々

災害発生から時間が経過し、未だ14万人超の避難生活者が存在する現在、先行き不透明な原発事故対応などに対して、国民の苛立ちが顕在化してきています。政府は、強力なリーダーシップの下、明確な方針を示すとともに、一体となった対応が求められています。

一方、このような厳しい情勢の中でも、雄々しく立ち上がる国民の姿やそれを支援する暖かい思いや行動を知る度、わたしもできることをやらなきゃと思いを新たにしています。

「震災いい話」で検索したら、ダイヤモンドオンライン(4/6)が「心に灯りをともすツイート」として、「pray for japan.jp」で取り上げられた言葉を紹介していました。わたしも、家に帰ったら家族に話してみようと思います。



◆「物が散乱しているスーパーで、落ちていたものを律儀に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本」(@kiritansu)

◆「家屋に取り残され、42時間ぶりに救出された高齢の男性の映像。『チリ津波も経験してきたから、だいじょうぶです。また、再建しましょう』と笑顔で答えていた。私たちが、これから何をすることが大事」(@mameo65)



◆「避難所でおじいさんが『これからどうなるんだろう』と漏らしたとき、横に居た高校生ぐらいの男の子が『大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します』って背中さすって言ってたらしい。大丈夫、未来あるよ」(@nekoshima83)

◆「子供がお菓子を持ってレジに並んでいたけれど、順番が近くなり、レジを見て考え込み、レジ横にあった募金箱にお金を入れて、お菓子を棚に戻して出て行きました。店員さんがその子供の背中に向けてかけた『ありがとうございます』という声が、震えてました。(@matsugen)



◆「停電すると、それを直す人がいて、断水すると、それを直す人がいて、原発で事故が起きると、それを直しに行く人がいる。勝手に復旧してるわけじゃない。俺らが室内でマダカナーとか言っている間クソ寒い中死ぬ気で頑張ってくれてる人がいる」(@yoh22222)

◆「ぜんぜん眠っていないであろう旦那に、『大丈夫？無理しないで。』とメールしたら、『自衛隊なめんなよ。今無理しないでいつ無理するんだ？言葉に気をつける。』と返事が。彼らはタフだ。肉体も、精神も」(@yoshimicov)
*カッコ内はアカウント名。



プロゴルファーの石川燎さんは、今期獲得賞金全額と1パーティーにつき10万円を震災復興への義捐金として拠出するそうです(現時点ですでに1,000万円以上)。久しぶりに「とても格好いい人」と感じています。彼の「強さ」は、「優しさ」を裏付けるために存在しています。すでに「ゴルフ道」の域に達しているようです。

わたしにできることを黙々とやる。そんな優しい生きかたを心がけたいものです。

連合に世界から多数のメッセージ

(3月31日現在、約90組織)

連合には、国際組織や世界各国・地域の労働組合から、お悔やみと激励のメッセージが多数届いています。労働運動は、世界とつながっています。
「つながろうNIPPON」を合言葉に連合も頑張っています。

■国際労働組合総連合（ITUC） シャラン・パロウ書記長より

今回の日本における大地震と津波という未曾有の災害に、国際労働運動は強い衝撃を受けました。まずは、この災害によって亡くなられた方のご家族や負傷された方に、心からの哀悼とともに弔意を表します。とりわけこの難局において、われわれ一同、連合とその構成組織全メンバーの無事を心よりお祈り申し上げます。

ドイツ労働総同盟（DGB） ミヒャエル・ゾンマー会長より

日本における大地震や津波災害についてのビデオ放送を、強い衝撃と湧き上がる恐怖心をもって見ております。人々の受難や市町村の全壊―すべてわれわれの想像を絶するものです。さらには、放射能汚染の脅威があります。

この国難の時に、ドイツの労働組合と労働者は日本国民と同じ気持ちにあることは間違いありません。被災によって最愛の人たちを亡くした多くのご家族に哀悼の意を表します。

ドイツ国民は大惨事から再び立ち直ることがいかに困難であるか知っています。しかし、勤勉かつ創造力豊かな誇り高き日本国民がこの悲劇に堪え、以前にもまして強く生まれ変わることを私は信じています。

連合と被災地における救助隊のためにドイツ労働総同盟ができることがありましたら、気兼ねなくお知らせ下さい。最後に、繰り返しになりますが、哀悼と連帯の意を表します。

メッセージをいただいた組織の一覧は、以下の通りです。

◆国際組織

ITUC（国際労働組合総連合）、ITUC-AP（ITUCアジア太平洋地域組織）、ILO（国際労働機関）、TUAC（OECD労働組合諮問委員会）、TUCA（ITUC米州地域組織）、ETUC（欧州労連）、OATUU（アフリカ労組統一機構）、ICEM（国際化学エネルギー鉱山一般労連）

◆各国労組（ITUC加盟組織／準加盟組織）

【アジア太平洋】イスラエルHISTADRUT、インドHMS・INTUC、インドネシアCITU・KSBSI、韓国FKTU・KCTU、カンボジアCCU、シンガポールNTUC、スリランカCWC、トルコHAK-IS・TürK-IS、ニュージーランドNZCTU、ネパールNTUC-I・GEFONT、パキスタンPWF、パレスチナPGFTU、バングラデシュBFTUC・JSL、ビルマFTUB、フィジーFTUC、フィリピンTUCP、香港HKCTU・HKTUC、モンゴルCMTU

【米州】米国AFL-CIO、カナダCLC、ドミニカ共和国CNTD、パナマCGTP、ブラジルCUT・FS・UGT、ベネズエラCTV、メキシコCTM

【欧州】英国TUC、イタリアCGIL・CISL・UIL、ウクライナFPU、オーストリアOGB、グルジアGTUC、サンマリノCDLS・CSDL、スウェーデンLO、スペインCC.OO.・UGT・USO、チェコCMKOS、ドイツDGB、ノルウェーLO・Unio・YS、フランスCFDT・CGT・CGT-FO、ブルガリアCITUB、ベラルーシBKDP、ベルギーCSC、ポーランド「連帯」、モルドバCNSM、ラトビアLBAS、ルクセンブルクOGBL・LCGB、ロシアFNPR

【アフリカ】アルジェリアUGTA、南アフリカFEDUSA

各国労組（ITUC非加盟組織）

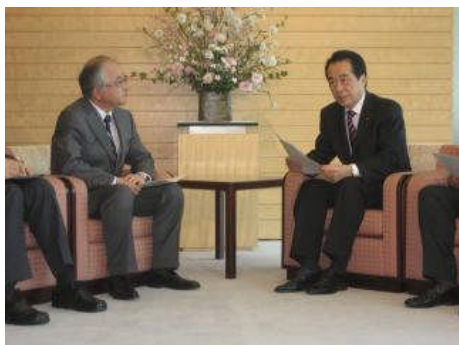
インドAIUTUC、中国 中華全国総工会、ネパールINDECONT、パキスタンAPTUF・GFTU、ベトナムVGCL、台湾 鉄鋼労働組合・銀行員工会全国連合会、ウズベキスタンOKUF、スペインCIG、ベラルーシFTUB、ポルトガルCGTP-IN、モーリシャスCITU

◆その他

ビルマ連邦国民評議会（NCUB）

わたしたちは一人ではない 世界中の仲間が心配し支援してくれている

首相に東日本大震災の救済・復旧対策を要請



連合は、4月6日、東日本大震災の救済・復旧対策を首相に要請しました。3月15日に政府・与野党に対する緊急要請につづく2回目の要請となりました。要請内容は、被災者の生活支援体制の整備、福島原発事故への対応、復旧・復興に向けた体制整備、補正予算の早期編成などです。

政府要請では、連合から古賀会長、南雲事務局長などが出席し、政府側は菅首相、枝野官房長官、福山官房副長官が対応しました。

冒頭、古賀会長から菅首相に要請書を手渡し、要請内容のポイントを説明しました。菅首相からは「早急に復興計画を策定するとともに、4月中には補正予算案を編成し国会に提出したい」など考え方が示されました。

さらに、古賀会長は、ボランティア派遣など連合の取り組みを紹介し、また、福島県（4月2日）・宮城県（4月3日）への訪問を踏まえ、風評被害対策の強化の必要性を訴えるとともに、従来の大震災対策の発想にとどまらない地域再生に向けた大胆な構想を検討する必要があることを強調しました。

また、枝野官房長官からは、電力の需給対策について、近々政府として骨格を取りまとめ、各方面に協力要請したいとの考えが示されました。

最後に、菅首相から「要請内容について、しっかりと対応する」との発言があり、古賀会長は政府の取り組みに精一杯協力すると応え、要請を終了しました。

■救援カンパは500円/人以上で、取組期間4月20日まで。

国交職組は、当面の取り組みとして、被災者救援カンパを取り組んでいます。

この取り組みは、連合・国公連合の取り組みに連動して展開しているもので、組合員被災者の救援を含む「緊急支援カンパ」ということで、4月20日を期限としています。

原則、各地本毎に集約して、国交職組指定の下記口座へ納付下さい。

あなたの暖かい支援をよろしくお願い致します。

みずほ銀行 芝支店 口座番号 普通 No.3510201
口座名義 国交職組愛のカンパ箱 代表 加藤順一

◆OBや元書記さんからもカンパが届けられています。ありがとうございました。

編集後記

■東北地本役員から「無名戦士達の記録」（麻生幾：文藝春秋5月号）を送っていただいた。災害対応の第一線で奮闘する自衛隊、消防隊、地方整備局が臨場感溢れるタッチで表現されていた。全国で黙々と働くこれらの組織の仲間は、大いに勇気づけられたのではないだろうか。それにしても、非常時の権限は、現場になれば話にならない。

■菅政権の下、災害対応と原発対応で新たな会議が次々と設置された。「会議は踊る」と揶揄されているが同感だ。防災関係および原発事故対応の既設の会議を活用すべきだった。また、次官会議も復活させて、政府の一体的対応を確保すべきである。

■震災復興構想会議は、被災地域再生を通じて、日本の再生＝グランドデザインを示すというような骨太の議論と方向性を期待するものである。（K）



